

平成 29 年度 福祉保健活動拠点事業報告書

施設名

金沢区福祉保健活動拠点

事業計画

1 場の提供について

(1)場の提供を通じた関係性の構築・利用団体支援

利用調整会議や拠点抽選会等、団体と接する貴重な機会として積極的に会話を図り、利用団体の活動内容の把握や課題の抽出に努めました。利用調整会議では必ず意見交換の場を設け、運営側と拠点利用者の関係をより身近に、意見を言い易い関係性を築いています。また、利用団体から挙げた意見には随時対応に努め、支援に繋げることができ、感謝の声をいただいています。

29 年度は利用登録団体の更新の年でしたが、非更新団体と新規登録団体が同数程度であり、登録団体総数は横ばいに留まっていますが、拠点内に、各団体の紹介カードや活動紹介パネルを展示することで、新規団体登録に結びけられるよう努めました。

今後は、利用団体と日々接する中で、区域のニーズや地域課題を発見し、地域担当等へ繋いで支援に結び付ける等、区社協の機能も生かしてより良い関係性の構築に努めます。

(2)拠点の利用促進に関すること

年 3 回発行予定の区社協広報紙は計画通り実施、ボランティアセンター通信は年 2 回発行済みです。また、ホームページでも随時ボランティア講座情報等を掲載し、拠点利用促進のための情報提供を行いました。また、拠点利用団体の活動内容周知や紹介を目的に、いきいきフェスタ(福祉体験約 70 名)や、いきいきセンターまつり(来場者約 700 人)等のイベントも参加・実施し、反響を得るとともに、新規の利用登録の間合せに応じました。

貸館の稼働率に関しては、例年同様、点字製作室及び録音室は低率に留まっていますが、昨年度比では多目的研修室と対面朗読室が高くなっています。また、土日祝日の収容人数の多い部屋の利用率は高くなる傾向があります。より場の提供を促すため、昨年度の傾向を顧みて、各部屋の収容人数や使用用途等を積極的に説明し、希望した部屋の予約ができない時等に少しでも他の部屋に代替できないか等、利用団体のため利用促進に努めました。

29 年度は、子ども食堂も開催(3 回/年)したため、子育て世代及び子育て支援団体等の利用登録に繋がることも期待できます。

| 【平日】 | 実績(利用件数) | | | 実績(利用率) | | |
|-------|----------|-------|------|---------|-----|-----|
| | 午前 | 午後 | 夜間 | 午前 | 午後 | 夜間 |
| 団体交流室 | 228 件 | 239 件 | 61 件 | 93.4% | 98% | 25% |

| | | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 多目的研修室 | 192 件 | 239 件 | 101 件 | 78.7% | 98.0% | 41.4% |
| 点字製作室 | 98 件 | 55 件 | 1 件 | 40.2% | 22.5% | 0.4% |
| 録音室 | 47 件 | 80 件 | 5 件 | 19.3% | 32.8% | 2.0% |
| 対面朗読室 | 150 件 | 167 件 | 63 件 | 61.5% | 68.4% | 25.8% |

| 【土日祝】 | 実績（利用件数） | | | 実績（利用率） | | |
|--------|----------|------|------|---------|-----|-----|
| | 午前 | 午後 | 夜間 | 午前 | 午後 | 夜間 |
| 団体交流室 | 78 件 | 89 件 | 23 件 | 68% | 78% | 45% |
| 多目的研修室 | 74 件 | 85 件 | 42 件 | 65% | 74% | 86% |
| 点字製作室 | 101 件 | 11 件 | 1 件 | 88% | 10% | 3% |
| 録音室 | 50 件 | 25 件 | 2 件 | 44% | 22% | 5% |
| 対面朗読室 | 30 件 | 60 件 | 46 件 | 27% | 53% | 94% |

(3) 拠点のサービスの向上に関すること

利用調整会議や随時利用団体から挙げた運営に対するご意見に積極的に対応し（手話通訳者スタンド、各部屋立て看板の撤去等）、利用団体が安心安全に利用できるよう、こまめに各種備品や施設の修繕を実施しました（スライディングウォールの潤滑化、視覚障害者のための CD 複製機修理等）。

拠点運営に関しては、今年度、事務分掌を作成する等、窓口担当職員の事務の役割を明確化するとともに、共同で運営している泥亀ケアプラザとも業務分担のための調整を重ね、利用者サービスの向上に努めました。

施設を職員全員で運営する意識の下、問題点や引継ぎ事項、ヒヤリハット等は、月 1 回の職員会議や毎日の朝礼・終礼、年 2 回の拠点担当者ミーティングを通じて共有し、職員によって利用者へのサービス提供に差がないよう図っています。

11 月に実施した窓口満足度調査では、4 項目において昨年度比 0.1%増という結果を得ることができました（回答者 186 名）が、更なる向上のため、職員会議等で改善策を共有しています。また、調査表の集計結果と分析結果及び改善策を明示し、館内へ掲示しています（年度末よりホームページへの公開も予定しています）。館内設置のご意見箱への対応も随時行い、これについても改善対応結果を館内へ掲示し、ホームページへの掲載も予定しています。

ホームページについては、今年度末、ウェブアクセシビリティ対応のリニューアルを予定しています。

危険物及び緊急時対応を日頃から想定し、職員による見回りの回数を増やす等して、拠点の環境整備を行っています。

(4) 利用調整会議等の開催

8月と2月に利用調整会議を実施しました。8月は障がい理解講座、2月は当施設における発災時の避難方法をテーマに利用団体が必要とする情報提供を行いました。講座テーマに関しては、団体から挙がる意見が多い事項や関心事等、また過去のテーマも鑑みて設定しています。また、意見交換の時間も設け、団体のニーズの把握に努め、要望に即時に応じました(前述)。出席団体数は各40団体程度ですが、欠席団体には当日資料及び報告書を郵送し、全団体に等しく情報が行き渡るよう提供を行っています(聴覚障害団体が出席する場合には手話通訳2名の派遣、視覚障害団体出席の場合は事前に資料をメールで送付するなどの対応も行っています)。団体間での交流については次年度実施予定であり、横の繋がりにおいても促進していきます。

| | |
|-------|-----------|
| 開催実績 | 2回(8月・2月) |
| 参加団体数 | 計86団体 |

2 ボランティア業務

(1) ボランティアに関する情報収集、分析、計画立案

<情報収集、分析>

ボランティアセンター・移動情報センター・送迎サービスのコーディネーターを窓口配置し、ボランティア活動者に関する情報共有を密に行えるよう工夫しました。また、ボランティアセンター・移動情報センターのコーディネーター合同ミーティングを月1回開催し、ニーズの共有・解決に向け話し合う場を設けました。

<計画立案>

ボランティア情報を積極的に提供し、現在活動していない人を活動につなげるきっかけとして各種講座を開催し、区内のニーズに沿った活動者を育成しました(詳細は4ボランティアに関する育成・支援・講座開催参照)。

また、ボランティアセンター運営委員会(年3回)にてボランティアセンターに寄せられたニーズを伝えるとともに、平成30年度ボランティアセンター事業計画作成に向けて意見聴取の機会を設けました。

(2) ボランティアに関する広報、情報提供

<広報>

ボランティアセンターの周知広報活動として、広報紙・ホームページ等を活用した情報の提供を行いました。

- ・金沢区社協広報紙「福祉かなざわ」 年3回発行
(8月・12月:8,700部、3月(タウンニュース特別版):78,500部)
- ・ボランティアセンター通信 年2回発行(9月:1500部、12月:8,700部)
- ・ホームページ 更新回数15回、アクセス数32,334回

<情報提供>

関係機関との連携体制強化に向けて、「地域活動交流コーディネーター連絡会」「生活支援コーディネーター連絡会」「健やか子育て連絡会」等の機会を通してボランティア関連の情報提供を行いました。特に就労支援スポットとは講座の共催、相談対応・調整を実施したほか、広報紙「いきいきシニア通信」やホームページ内に区社協事業(ボランティアミニ講座等)紹介を掲載いただくなど、高齢者に対する情報提供の一助となりました。

子ども食堂の立ち上げに関する相談等に対し、ボランティアセンターや拠点利用についても情報提供を行うことで、ボランティアの派遣につながりました。

(3) ボランティアに関する相談、紹介

ボランティア・市民活動団体分科会と連携したボランティアコーディネートを行うことで、個人登録ボランティアでは対応できなかったニーズに対応できるようになりました（例：配食グループへの栄養士派遣等）。また、地域アセスメントの一助として、「生活支援コーディネーター」にてボランティアセンター業務の説明及びニーズ情報提供を行いました。

そのほか、コーディネーターのスキルアップを目的に、市社協が実施する研修会や連絡会へ派遣を行いました。

＜平成 29 年度ボランティアセンター相談実績＞

| | | | |
|------|----|----|-----|
| 登録人数 | 個人 | 新規 | 39 |
| | | 累計 | 509 |
| | 団体 | 新規 | 1 |
| | | 累計 | 54 |
| 相談件数 | | | 239 |
| 依頼件数 | | | 239 |
| 紹介人数 | | | 281 |
| 調整数 | | | 612 |

(4) ボランティアに関する育成・支援・講座開催

地域から寄せられるニーズ・情報や各種相談事業から、必要とされているボランティア活動の組織・育成を目的に各種講座の開催や学習できる機会を提供するとともに、関係機関と連携しながら組織化を前提とした活動の開発を行いました。また、区域のボランティア・市民グループの支援を目的に、86 団体にいきいき金沢助成金を配分しました。

＜入門講座の開催＞

- ・ボランティアミニ講座（年 5 回、延べ 11 人）
- ・60 歳からのボランティア入門セミナー〔共催：生きがい就労支援スポット〕（9/28、18 人）
- ・シニア大学一般講座「さまざまなボランティア活動とその心構え（7/28、40 人）

＜課題解決型講座＞

- ・障がい児者のためのガイドボランティア講座〔共催：並木 CP〕（9/30、8 名）
- ・障がい者ガイドボランティア研修会〔共催：横浜市身体障害者団体連合会〕（3/6、12 名）
- ・障害児余暇活動支援事業（サマーフレンド）ボランティアの募集、調整、育成（7/28～8/26、延べ 56 人）
- ・拡大写本ボランティア養成講座〔共催：こだまの会〕（10/12～全 9 回、11 名）

＜フォローアップ講座＞

- ・精神保健福祉ボランティアフォローアップ講座（1/24、8 名）
- ・ガイドボランティア座談会（11/14、13 名）

＜活動団体支援＞

- ・活動団体交流会〔共催：区民活動センター〕〔6/10、24 人〕

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア交流会(2/17、42人) <地区ボランティアセンター支援> <大学との連携> ・横浜市立大生対象ボランティア実践講座(4/27、11人) 区内CPでのボランティア体験実習(5/3～6/11、16名・23活動) ボランティア活動体験報告会(6/13、8人) ・関東学院大学生対象ボランティア活動紹介(6/16) |
|--|

3 他の関連組織とのネットワーク

| |
|--|
| <p>(1) 関連組織及び地域との連携</p> <p>ボランティア・市民活動団体分科会が主体の「子ども食堂の事業」実施に必要なネットワークづくりに取り組みました。事業には金沢区の特徴である大学生(関東学院大学)にも実行委員メンバーとして参画してもらっています。大学生には企画から当日の運営まで関わってもらい、学習支援や遊びを通して子どもたちが抱える課題の把握等に努めました。</p> <p>また、企業等との連携として区内の農協(2支店)と子ども食堂等への食材提供に関する話し合いが始まりました。</p> <p>地域との連携事業としては、シーサイドタウン地区で取り組んでいる地区ボランティアセンターの立ち上げに向けた協力を地域ケアプラザとともに行いました。</p> |
|--|

| |
|--|
| <p>(2) 地域の福祉保健課題への理解と協力</p> <p>福祉保健に関する理解を促進するため、様々な機会を通して講座等を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用調整会議の参加者を対象に障がいに関する啓発を目的に「障がい理解の講座」を実施しました。 ・当事者団体部会において障害当事者から見た区域の課題について検討を行い、京浜急行電鉄株、金沢八景駅東口開発事務所とホームドア設置や八景駅のバリアフリーに関する意見交換を実施しました。 ・地区社協分科会において「障がい理解講座」を障害者支援センター(横浜市社協)との共催で開催しました。 |
|--|

4 その他

| |
|--|
| <p>(1) 職員体制、育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材の育成は、常勤職員は人材育成計画、非常勤職員は業務評価シートを基に実施し、必要に応じてOJT、Off-JTの機会を設けスキルアップを図っています。 ・毎日の朝礼・終礼で直近の事業を共有し、利用者対応に支障が無いようにしました。 ・金沢区社協における個人情報保護の考え方を採用時研修で実施し、常に認識するよう指導しています。 ・ボランティアセンターミーティングを月1回、拠点担当者会議を年2回実施し、利用調整会議や窓口満足度調査で出された要望に早期対応ができ利用者の信頼につながりました。また、コーディネーターが目標を共有しニーズ対応をすることができました。 ・相談業務に関する研修会は市社協主催のコーディネーター連絡会等の機会を通して必要なスキルの習得に努めました。 ・いきいきセンター合同で防災訓練を年2回実施し、災害時避難誘導など反復練習して備えています。 |
|--|

・閉館業務マニュアルを作成し、防災訓練終了後に職員研修を行い共有しました。

5 施設の適正な管理・運営について

ア 施設の維持管理について

<開館時間>

平日・土曜 9：00 ～ 21：00
日曜・祝日 9：00 ～ 17：00

<建物・設備の保守点検、小破修繕>

- ・駐車場ゲート保守管理業務：3回／年
- ・真空式温水器保守点検業務：2回／年
- ・エレベーター保守点検業務：1回／月
- ・自動ドア保守点検業務：4回／年
- ・自家用電気工作物点検業務：月次点検、年次点検
- ・空調用自動制御装置保守点検業務：2回・6回／年
- ・冷温水発生器及び空調機器保守点検業務：1回・2回・6回／年
- ・消防用設備点検業務：2回／年
- ・端末設備保守点検業務：6回／年
- ・設備総合巡視点検業務：4回／年

実施しました。

<清掃業務について>

- ・日常清掃：毎日（開館日）
- ・定期清掃：指定日

実施しました。

<警備業務について>

- ・機械警備（開館日夜間・休館日、緊急時・異常事態発生時）

実施しました。

<衛生管理業務について>

- ・空調環境測定業務：4回／年
- ・配水管洗浄業務：1回／年
- ・受水槽清掃業務・飲料水水質検査業務：1回／年
- ・簡易専用水道検査：1回／年
- ・空調機（エアコン）フィルター清掃業務：4回／年
- ・環境衛生管理業務（建築物環境衛生管理技術者業務）：4回／年
- ・害虫駆除業務：6回／年（7・8・9月、12・1・2月）

実施しました。

<植栽保守業務について>

2回／年

実施しました。

イ 苦情受付体制について

<苦情受付体制・方法>

金沢区社協「苦情解決規則」並びに「苦情解決規則に基づく苦情相談対応マニュアル」沿って、苦情受付の体制を整えています。

また、ご意見箱設置要綱に基づき、苦情だけでなく、利用者からの意見・要望等を受け付けました（通年）。

<苦情への対応手順>

受付担当者から解決責任者（事務局長）という流れで苦情の解決に当たります。また、横浜市社協の苦情解決調整委員会に委託し、上記の仕組みで対応できなかった場合の対応や苦情解決に関わる助言をいただき、円滑な解決・サービスの改善に努めます。なお、この苦情解決委員会は、法律・福祉・人権の各分野の方から構成されています。

上記手順を設けていますが、29年度においては上記対応による苦情は0件でした。

ご意見箱の意見等に関しては、ご意見等及び対応結果を拠点内掲示版、及びホームページに掲載しました。

<苦情解決の仕組みに対する利用者への周知方法>

拠点内の見やすい箇所（掲示板等）に掲示する等、市民への周知を図りました。

ウ 緊急時（災害・事件・事故等）の体制及び対応について

<連絡体制、マニュアルの整備状況等>

浸水想定区域に指定されているいきいきセンターにおいて「避難確保計画」を策定しました。あらゆる災害において、緊急時に迅速且つ適切な対応・連絡体制作りを行うとともに、警報発令等、災害発生のおそれがある場合に備え、予め参集・待機の体制を整えました。

<職員の役割分担>

火災等の場合には、予め定められている自衛消防隊組織図に基づき、役割分担を行い、対応します。

大規模災害発災時には、「災害時における区ボランティア活動拠点開設の協力に関する協定」に基づき、速やかに「区災害ボランティアセンター」が設置できるよう協力するとともに、区災害ボランティアネットワーク等と連携し、ボランティア調整等の活動支援を行います。そのための訓練として、シミュレーション訓練を実施しました（1月）。また、区社協業務計画（BCP）に基づく災害時の職員配置を含めた体制の整備を継続して進めます。

<地域や関係機関との連携体制>

いきいきセンター連絡会議や、行政との打合せ等を通じて、関係機関との連携を図りました。

また、指定管理者たる金沢区社協が、災害ボランティアネットワークの事務局を担っていることから、これらとの連携を活かして、万が一の災害に備えています。

拠点においては、利用者の安全確保のため、利用毎に「いきいきセンター避難経路図」を示し、日頃から利用者への認知も行って行っていました。

<事故防止への取組>

日常業務の中でヒヤリ・ハット事例を共有するとともに、他区の福祉保健活動拠点等で発生した事故事例を収集し事故原因の分析を行いました。また、全職員による学習会を定期的に開催することで日頃より事故防止に努めました。

いきいきセンター全館合同防災訓練も年2回実施し、当日利用者参加の下、火災・地震・津波等を想定し、発災時に備えました（通年）。

エ 個人情報保護の体制及び取組について

<マニュアルの整備状況>

「横浜市個人情報保護に関する条例」並びに「金沢区社協の保有する個人情報の保護に関する規程」、及び「金沢区社協の保有する特定個人情報取扱要綱」に基づき、個人情報の保護に努めました（通年）。

<職員への周知>

横浜市社協が実施する研修に参加するとともに、職員会議等を通じて、意識啓発を行うことで、個人情報に関する理解の定着を図りました（通年）。

<日常の取組>

窓口には、「個人情報取扱業務概要説明書」を設置して、常時閲覧可能としています。また、窓口におけるプライバシー保護のため、個人に関わる相談は相談室にて、また、電話における個人の相談についても周囲を配慮しながら行いました。

オ 環境への配慮及び取組について

<ゴミ発生抑制に関する取組>

<再利用・再使用・リサイクルに関する取組>

ヨコハマ3Rプランに基づき、環境に配慮した行動を心がけるとともに、利用者にも環境への配慮を呼びかけました。

- ・廃棄物については、ごみゼロ推進員を選出し、資源の分別を徹底しました。
- ・文書・備品廃棄については定めに従い処分しました。
- ・拠点利用者には、ゴミの持ち帰りを呼びかけ、館内のゴミ箱を撤廃しました。

<温室効果ガス排出抑制に関する取組（グリーン購入、室温設定等）>

クールビズ・ウォームビズを実施し、空調設備の設定温度（夏期 28 度、冬期 20 度）を調整するとともに、各部屋に設定温度を掲示し、利用者にも協力を依頼しました。

平成29年度 金沢区福祉保健活動拠点 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

| 科目 | 当初予算額 (A) | 補正額 (B) | 予算現額 (C=A+B) | 決算額 (D) | 差引 (C-D) | 説明 |
|-------------|-------------------|----------------|-------------------|-------------------|------------------|-------|
| 指定管理料 | 15,475,000 | 218,000 | 15,693,000 | 15,904,436 | △ 211,436 | 横浜市より |
| 事業収入 | 4,000 | | 4,000 | 0 | 4,000 | |
| 雑入 | 500,000 | 0 | 500,000 | 392,610 | 107,390 | |
| 印刷代 | 497,600 | | 497,600 | 387,240 | 110,360 | |
| 自動販売機手数料 | 0 | | 0 | | 0 | |
| その他(電話利用料) | 2,400 | | 2,400 | 5,370 | △ 2,970 | |
| 収入合計 | 15,979,000 | 218,000 | 16,197,000 | 16,297,046 | △ 100,046 | |

支出の部

| 科目 | 当初予算額 (A) | 補正額 (B) | 予算現額 (C=A+B) | 決算額 (D) | 差引 (C-D) | 説明 |
|---------------|-------------------|------------------|-------------------|-------------------|------------------|--|
| 人件費 | 10,222,000 | 0 | 10,222,000 | 10,279,392 | △ 57,392 | |
| 給与・賃金 | 9,300,000 | | 9,300,000 | 9,113,956 | 186,044 | |
| 社会保険料 | 660,000 | | 660,000 | 645,262 | 14,738 | |
| 通勤手当 | 250,000 | | 250,000 | 310,134 | △ 60,134 | |
| 健康診断費 | 6,000 | | 6,000 | 5,940 | 60 | |
| 勤労者福祉共済掛金 | 6,000 | | 6,000 | 6,000 | 0 | |
| 退職給付引当金繰入額 | 0 | | 0 | 198,100 | △ 198,100 | |
| 事務費 | 1,746,000 | △ 102,126 | 1,643,874 | 1,637,066 | 6,808 | |
| 旅費 | 12,000 | | 12,000 | 1,939 | 10,061 | |
| 消耗品費 | 350,000 | | 350,000 | 695,901 | △ 345,901 | |
| 会議旅費 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 印刷製本費 | 50,000 | | 50,000 | 0 | 50,000 | |
| 通信費 | 425,000 | | 425,000 | 169,431 | 255,569 | |
| 使用料及び賃借料 | 50,000 | 0 | 50,000 | 56,696 | △ 6,696 | |
| 横浜市への支払分 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| その他 | 50,000 | | 50,000 | 56,696 | △ 6,696 | パフォーマンスチャージ |
| 備品購入費 | 450,000 | △ 100,000 | 350,000 | 217,188 | 132,812 | |
| 図書購入費 | 39,000 | △ 2,126 | 36,874 | 3,189 | 33,685 | |
| 施設賠償責任保険 | 20,000 | | 20,000 | 5,280 | 14,720 | |
| 職員等研修費 | 0 | | 0 | 3,336 | △ 3,336 | |
| 振込手数料 | 0 | | 0 | 648 | △ 648 | |
| リース料 | 350,000 | | 350,000 | 391,850 | △ 41,850 | |
| 手数料 | 0 | | 0 | 3,456 | △ 3,456 | |
| 地域協力費 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| その他(分担金) | | | 0 | 88,152 | △ 88,152 | |
| 事業費 | 928,801 | 0 | 928,801 | 380,037 | 548,764 | |
| 事業費 | 928,801 | | 928,801 | 380,037 | 548,764 | |
| 管理費 | 3,282,199 | △ 310,000 | 3,022,325 | 3,573,146 | △ 550,821 | |
| 光熱水費 | 1,277,000 | △ 300,000 | 977,000 | 1,007,534 | △ 30,534 | |
| 電気料金 | 810,000 | △ 100,000 | 710,000 | 664,581 | 45,419 | |
| ガス料金 | 260,000 | △ 100,000 | 160,000 | 232,451 | △ 72,451 | |
| 水道料金 | 207,000 | △ 100,000 | 107,000 | 110,502 | △ 3,502 | |
| 清掃費 | 889,453 | △ 10,000 | 879,453 | 829,600 | 49,853 | 空調機(エアコン)、受水槽清掃含む |
| 修繕費 | 272,000 | | 272,000 | 579,436 | △ 307,436 | |
| 機械警備費 | 99,144 | | 99,144 | 99,144 | 0 | |
| 設備保全費 | 673,659 | 0 | 673,659 | 794,809 | △ 121,150 | |
| 空調衛生設備保守 | 288,252 | | 288,252 | 355,236 | △ 66,984 | 冷温水器および空調機器、空調自動制御設備 |
| 消防設備保守 | 106,120 | | 106,120 | 106,120 | 0 | |
| 電気設備保守 | 22,913 | | 22,913 | 22,913 | 0 | |
| 害虫駆除清掃保守 | 25,704 | | 25,704 | 25,704 | 0 | |
| 駐車場設備保全費 | 49,572 | | 49,572 | 49,572 | 0 | |
| その他保全費 | 181,098 | | 181,098 | 235,264 | △ 54,166 | 植栽、真空式温水器配水管洗浄、環境衛生管理、空気環境測定 |
| 共益費 | 150,126 | △ 100,000 | 50,126 | 0 | 50,126 | エレベーター保守、構内交換電話設備、自動ドア、簡易水道検査、フロアマットレンタル |
| その他(設備総合巡視点検) | 70,943 | | 70,943 | 262,623 | △ 191,680 | |
| 公租公課 | 600,000 | △ 5,000 | 595,000 | 603,600 | △ 8,600 | |
| 事業所税 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 消費税 | 600,000 | △ 5,000 | 595,000 | 603,600 | △ 8,600 | |
| 印紙税 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| その他() | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 支出合計 | 16,779,000 | △ 417,126 | 16,412,000 | 16,473,241 | △ 61,241 | |
| 差引 | △ 800,000 | 635,126 | △ 215,000 | △ 176,195 | △ 38,805 | |

| | | | | | |
|-------|--|--|--|-----------|--|
| 事業費収入 | | | | 0 | |
| 事業費支出 | | | | 260,914 | |
| 事業収支 | | | | △ 260,914 | |

| | | | | | |
|----------------|--|--|--|----------|--|
| 管理許可・目的外使用許可収入 | | | | 0 | |
| 管理許可・目的外使用許可支出 | | | | 49,572 | |
| 管理許可・目的外使用許可収支 | | | | △ 49,572 | |